

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院泌尿器科に、尿路結石症で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学泌尿器科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

閉塞性腎盂腎炎を来した上部尿路結石症に対する結石除去術に関する後方視的検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学泌尿器科学講座 助教 射場昭典

3. 研究の目的

上部尿路結石による閉塞性腎盂腎炎は、時に敗血症を来し致命的となる泌尿器科の代表的な救急疾患の一つです。近年、本症の重篤化を予測する因子について多くの報告がなされており、リスク因子の有無によって重症度を判定し、本症の重篤化を防ごうとする試みがなされています。しかしながら、本症の治療は感染症の治癒がゴールではなく、感染症治癒後に原因となった結石を除去する必要があります。しかしながら、感染改善後の結石除去術を行った後の経過を検討し、どのような患者さんで術後に注意が必要であるのか、どのような結石治療が最適であるかについての検討はほとんどなされていません。

本研究は、これまで当科で閉塞性腎盂腎炎を来した上部尿路結石症に対し、結石除去術を受けた患者さんのデータを解析することによって、結石除去術直後の有熱性尿路感染症発症、術後フォローアップ中の尿路結石および腎盂腎炎再発を予測する因子を明らかにし、本症に対して結石除去術を行う上で、どのような患者さんに特に注意が必要なのか、どのような結石治療が適切であるのかを明らかにすることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2006年から2016年までに、閉塞性腎盂腎炎を来した上部尿路結石症に対し当科で結石除去術(体外衝撃波尿路結石除去術、経尿道的尿路結石除去術、経皮的尿路結石除去術)を行い、その後当科外来に通院されたことのある方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、既往歴、患者さんの日常活動自立度、血液検査のデータ、治療前の尿ドレナージチューブ留置(尿管ステント、腎瘻カテーテルなど)の有無、結石の大きさや個数、位置、結石除去術の術式、術後の残石の有無、術直後の有熱性尿路感染症発症の有無、フォローアップ期間中の尿路結石および腎盂腎炎再発の有無などに関する情報です。

(3)方法

対象となる患者さんの診療記録や検査データを過去にさかのぼって集計し、結石除去術直後の有熱性尿路感染症の発症率、フォローアップ期間中の尿路結石や腎盂腎炎の再発率について検討するとともに、その3つの結果に影響する治療前の因子を明らかにします。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学泌尿器科学講座 担当医師 射場昭典

TEL:073-441-0637 FAX:073-444-8085

E-mail:a-iba@wakayama-med.ac.jp